

学校運営協議会（第3回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	可知 万千代

開催日時	令和5年2月9日（水） 10:00 ～ 11:30
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	藤田 寿夫(会長) 八尾 康則(委員) 古賀 正広(委員) 山埜 朋一(委員) 石堂 蘭子(委員) 岩出 るり子(委員) [欠席]
出席者(学校)	可知 万千代(校長) 南 佐和則(教頭) 長田 登起夫(教頭) 清水 紀行(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 西島 洋美(首席・高等部主事) 坂野 理恵(中学部主事) 上田 悠司(小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	目次、実践報告資料「本校の自立活動」（資料1「自立活動の時間における個別指導計画」資料2「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」、資料3「交野マトリクス」、「令和4年度学校教育自己診断アンケート（まとめ）」、「令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）」、「令和5年度学校経営計画（案）」
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 実践報告『本校の自立活動について』及び質疑応答</p> <p>(3) 議事 ①「令和4年度学校教育自己診断」について ②「令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）」達成状況について ③「令和5年度学校経営計画（案）」について（中期目標の確認） ④各議員挨拶</p> <p>(4) 閉会の挨拶</p>
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 実践報告『本校の自立活動について』及び質疑応答 <首席（木下）より説明> 【自立活動】【子どもたちの学校の様子（動画で報告）】【キャリア教育】等について説明。 ＜委員からの意見＞ ・支援学校に在籍中にはいろいろな経験ができる。進路先へ引継ぎ、社会全体でその成果を認識して取り組みを続けていくことが社会の責任であり、事業所としても重要だと改めて感じた。 「子どもの変化・成長を見る目」がとても大切であると思う。</p> <p>(3) 議事 ①「令和4年度学校教育自己診断」について <首席（木下）より説明> アンケート結果の分析から、本校で行っている教育活動はすべて「社会のルール」や「キャリア教育」に繋がっていることを教職員一人ひとりが理解した上で保護者・地域に伝えていくことの重要性について再認識した。更なる研修やホームページ活用など具体的な改善策について今後検討続けていく。</p>

《委員からの質問、意見》

- ・引き続き、多くの実践を積んでいってほしい。

②「令和4年度学校経営計画及び評価(案)」達成状況について〈校長より説明〉

学校教育自己診断結果より見えた次年度改善すべき課題や今年度の学校経営計画の自己評価についての確認。特に今年度△評価となった部分についてその理由と課題について説明を行った。

③「令和5年度学校経営計画(案)」について〈校長より説明〉

令和4年度の評価をふまえた「令和5年度学校経営計画(案)」の中期目標・具体的な取り組み内容について説明。

令和5年度学校経営計画(案)(中期的目標)について承認を得た。

《委員からの意見》

- ・教員採用試験の応募数が減ってきていると聞くと、教員の多忙さが一因にあるように思う。教職を希望される方が増えるよう学校で取り組まれていることをもっと発信をしていくと良いと思う。
- ・チューターを指名することでどんな効果があったか。
→支援学校がはじめて、教員がはじめてという方も相談しやすいよう同性、年齢が近い方、教員経験2～4年めの方を選ぶようにし、4月当初早い時期に出会いの場の設定している。チューター制を導入してから不安の声が減ってきており、効果を感じている。
- ・教員としての力をつけていくのは2年め以降だと思う。そのためにもチューター制は良いと思う。
- ・ホームページを保護者として見る機会が少ない。ホームページの更新頻度が少ないことが原因ではないか。ブログ等、頻回に更新されていると学校のホームページを見ることが多い。
→個人情報取り扱いが難しい部分はあるが、更新頻度を上げられるように考えていきたい。
- ・会議削減についてどのように取り組んでいるか。
→ICTを活用したり、検討すべき事項を事前にまとめたりして会議時間の削減を行っている。
→子どもの実態把握と安心安全のための情報共有が一番大切だと感じている。そのため会議、学校運営のための会議、そして授業準備と教員一人ひとりの役割が重複している。児童生徒の利益を考えると、より良くしたいという思いが教員は強く、そのバランス調整が難しいところである。
- ・ノー会議デーが月1回ということは、毎日会議をされているということか。
→そのとおり。コロナ禍になり消毒作業も増え、外部人材の方に協力を得ているものの下校後の仕事が多く休憩時間がとれない。本来月2回設定しているが、実質難しい状況である。
- ・自立活動の外部専門家活用について教えてほしい。
→府の福祉医療関係人材活用事業(P T、O T、S T、臨床心理士)の巡回指導を活用している。その巡回で得た指導助言の共有システムが課題と感じている。現在その共有方法について担当部署を中心に検討をしているところである。

④その他

今年度最後のため、各委員より挨拶をいただいた。

(4) 閉会の挨拶